

教科	数学	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1章 文字式を使って説明しよう[多項式]	19	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な問題を、文字式とその計算を利用して解決することを通して、文字のよさを理解する。 数の性質や図形が成り立つことを、文字を使って証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。 ○簡単な1次式の乗法の計算及び公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○すでに学習した計算方法と関連付けて、式の展開や因数分解をする方法を考察し表現できる。 ○文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○式の展開や因数分解のよさを実感し、粘り強く考えようとしている。 ○式の展開や因数分解で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○式の展開や因数分解を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。
2章 数の世界をさらにひろげよう[平方根]	16	<ul style="list-style-type: none"> 数の平方根の必要性和意味を理解し、計算できるようにする。 数の平方根を具体的な場面で活用することができる。 計算方法を、既習内容を用いて考察できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○数の平方根の必要性和意味を理解している。 ○数の平方根を含む簡単な式の計算をすることができる。平方根の意味を理解し、ある数の平方根を求めることができる。 ○具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○すでに学習した計算方法と関連付けて、数の平方根を含む式の計算方法を考察し表現できる。 ○数の平方根を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○数の平方根の必要性和意味を考えようとしている。 ○既習の計算法則などを、根号をふくむ式の計算に生かそうとしている。 ○数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
3章 方程式を利用して問題を解決しよう[2次方程式]	15	<ul style="list-style-type: none"> 2次方程式の必要性和意味を理解する。 因数分解や解の公式を利用して、2次方程式を解けるようにする。 既習内容を基に2次方程式の解き方を考察し表現する。 2次方程式を具体的な場面で活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○2次方程式の必要性和意味を理解する。 ○因数分解したり平方の形に変形したりして2次方程式を解くことができる。 ○解の公式を知り、それを用いて2次方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○因数分解や平方根の考え方を基にして、2次方程式を解く方法を考察し、表現することができる。 ○2次方程式を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○2次方程式のよさを実感し、粘り強く考えようとしている。 ○2次方程式で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○2次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。
4章 関数の世界をひろげよう[関数 $y=ax^2$]	18	<ul style="list-style-type: none"> 関数$y=ax^2$について理解する。 事象の中には関数$y=ax^2$として捉えられるものがあることを知る。 いろいろな事象の中に関数関係があることを理解すること。 関数$y=ax^2$として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 関数$y=ax^2$を用いて具体的な事象を捉え考察し、表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○関数$y=ax^2$について理解している。 ○事象の中には関数$y=ax^2$として捉えられるものがあることを知っている。 ○いろいろな事象の中に関数関係があることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○関数$y=ax^2$として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ○関数$y=ax^2$を用いて具体的な事象を捉え考察し、表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○関数$y=ax^2$のよさを実感し、粘り強く考えようとしている。 ○関数$y=ax^2$で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○関数$y=ax^2$を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。
5章 形に着目して図形の性質を調べよう[相似な図形]	16	<ul style="list-style-type: none"> 平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解する。 基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係を理解する。 三角形の相似条件を基に、図形の基本的な性質を論理的に確かめること。 相似な図形の性質を具体的な場面で活用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平面図形の相似の意味と表し方を理解している。 ○基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○三角形の相似条件を基に、図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ○平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができる。 ○相似な図形の具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○相似な図形のよさを実感し、粘り強く考えようとしている。 ○相似な図形で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○相似な図形を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。
6章 円の性質を見つけて証明しよう[円]	10	<ul style="list-style-type: none"> 円周角と中心角の関係を見だし、意味を理解し、それが証明できることを知る。 円周角と中心角の関係を見いだす。 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○円周角と中心角の関係を見だし、意味を理解し、それが証明できることを知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○円周角と中心角の関係を見だし、証明について、構想を立てることができる。 ○直径と円周角の定理を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○円周角と中心角のよさを実感し、粘り強く考えようとしている。 ○円周角と中心角で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○円周角と中心角を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。
7章 三平方の定理を活用しよう[三平方の定理]	16	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理の意味を理科し、それが証明できることを知る。 三平方の定理を見いだすこと。 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○三平方の定理の意味を理科し、それが証明できることを知っていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○三平方の定理を見いだすことができる。 ○三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○三平方の定理のよさを実感し、粘り強く考えようとしている。 ○三平方の定理で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。

<p>8章 集団全体の傾向を推測しよう[標本調査]</p>	<p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・標本調査の意味と必要性を理解すること。 ・パソコンなどの情報手段を用いて、無作為に標本を取り出し、整理すること。 ・標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現すること。 ・簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○標本調査の意味と必要性を理解している。 ○パソコンなどの情報手段を用いて、無作為に標本を取り出し、整理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。 ○簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○標本調査のよさを実感し、粘り強く考えようとしている。 ○標本調査で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。
-------------------------------	----------	---	--	---	--